

7月の相談は252件 上半期、前年と同じの1585件

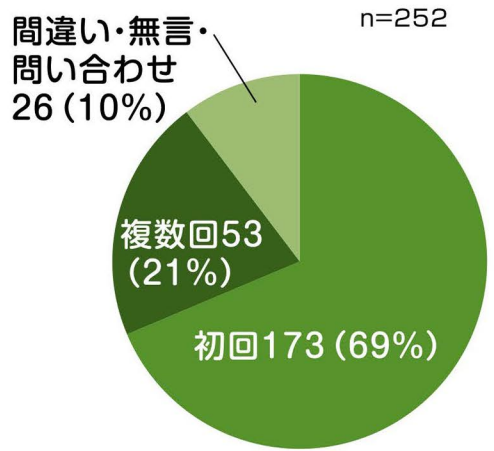
皆さんご依存問題相談機関のリカバリーサポート・ネットワーク(RSN・西村直之代表理事)は、電話相談の数値・内容を毎月集計して、機関誌「さくら通信」で報道している。今回、「さくら通信」は100号を迎えたが、掲載された7月の「相談データ」を紹介する。

台風の影響でやや減少

7月の相談件数は252件で、前月より29件減少しました。台風9号の影響により7月9日(午後)、10日(終日)は相談業務を休止いたしました。この時期は、沖縄という土地柄ゆえに、台風接近に伴う相談中止、電話回線断線の対応な

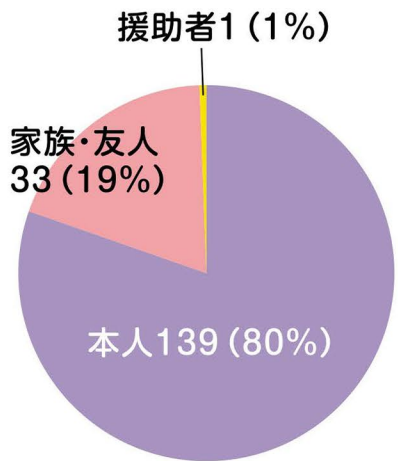
ど、相談業務に支障をきたす事態が度々起こります。皆さまには、この場をお借りしてお詫びいたします。今月は相談業務休止による業務日数の減少と例年の季節変動(春季にピークを迎えた相談件数は夏季に一息つき、横ばいになります)が重なったことが相談件数の減少につながったようです。

① 相談回数



① 相談回数…初回相談173件(69%、前月比-33件)、複数回53件(21%、同+6件)、間違い・無言・問合せ26件(10%、同-2件)でした。初回相談の減少が大きかった一方で、複数回相談は開設以来の最多件数を更新し、全体の21%を占めました。

② 相談者の関係性

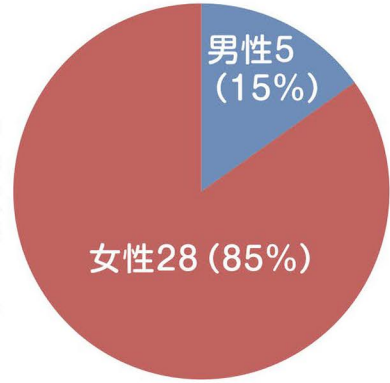


② 相談者の関係性…初回相談のうち、本人からの相談は139件(80%、前月比-19件)、家族・友人からの相談は33件(19%、同-15件)、援助者からの相談は1件(1%、同+1件)でした。

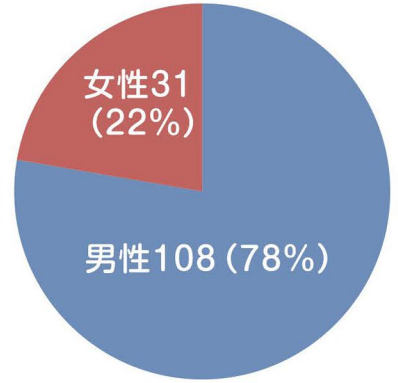
③ 性別

③ 性別…本人性別の内訳は男性108件(78%、前月比-23件)、女性31件(22%、同+4件)でした。家族・友人の性別は、男性5件(15%、同-3件)、女性40件(85%、同-12件)でした。相談件数全体が減少している中で、本人女性は増加しました。

家族・友人 n=33(初回のみ)

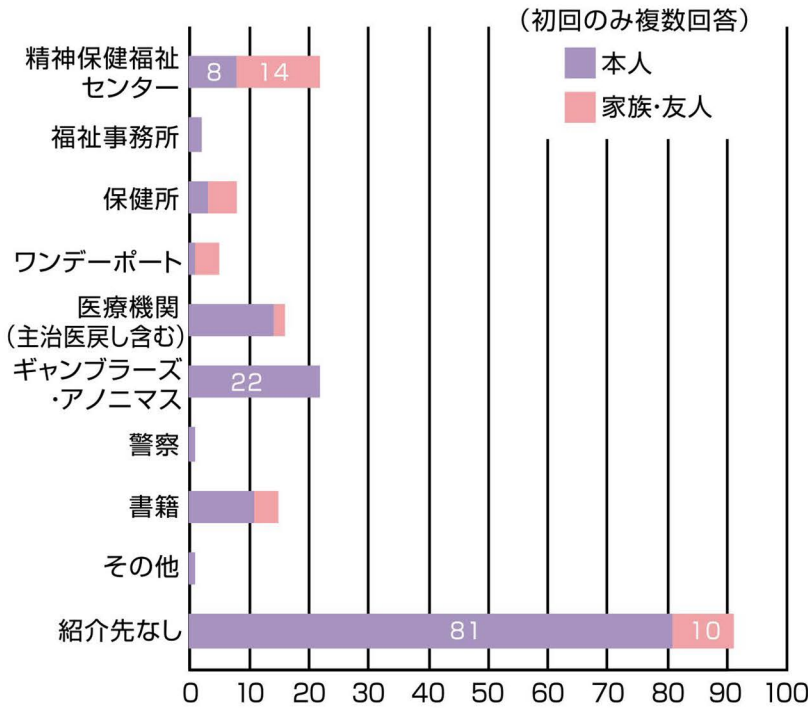


本人 n=139(初回のみ)



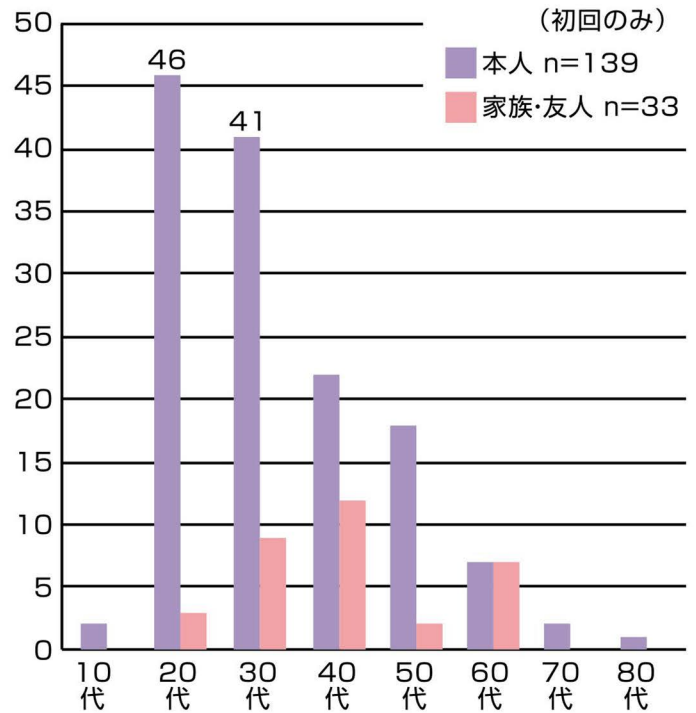
RSN相談窓口 ☎050-3541-6420 月~金 10時~16時(土日祝祭日を除く)

⑤ 紹介先



⑤ 紹介先…「自分ひとりではどうにもならない」とおっしゃる方には地域で利用できる社会資源を一緒に考えます。次の一步を踏み出せるよう、本人のモチベーションを意識しながら相談対応をしています。

④ 相談者の年齢



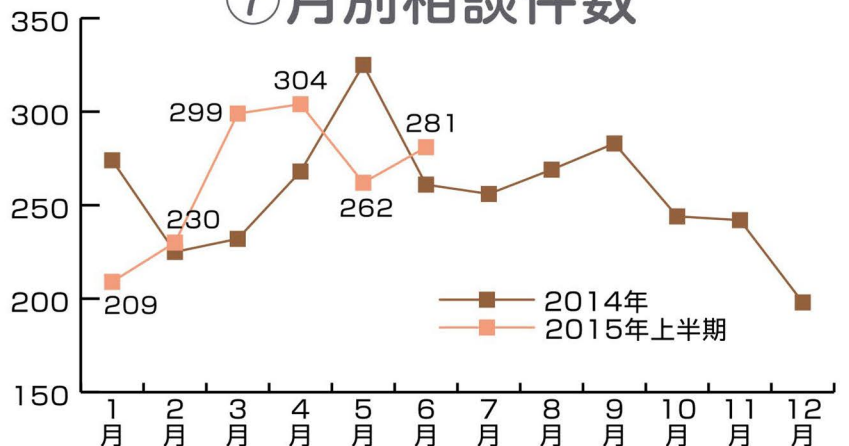
④ 相談者の年齢…本人相談の年齢分布では20代が前月より10件減少しましたが、それでも20代が最も件数の多い年代でした。(※今月から相談者の年齢の集計報告は、本人と家族・友人に絞りました)

⑥ 経路

	本人	家族・友人	援助者	合計
ホール内ポスター	79	3	0	82
インターネット	41	26	1	68
雑誌	9	0	0	9
他の相談機関	0	2	0	2
その他	6	1	0	7
不明・拒否	4	1	0	5
総計	139	33	1	173

⑥ 経路…インターネット経由の相談件数は、前月比で26件の減少でした。一方、ホール内啓発ポスターの件数は前月比5件の増加で、安定しています。

⑦ 月別相談件数



依存以外の相談引き受ける

全商協が「RSN支援室」

パチンコ・パチスロ産業21世紀会の14団体は、リカバリサポーター・ネットワークを支えるために資金的応援を続けているが、全国遊技機商業協同組合連合会はこのたび電話対応を助ける「全商協RSN支援室」を立ち上げた。

RSNの指導のもと「支援室」は8月3日、サービスを開始した。

従来のRSN相談に電話をかけるのと「のめり込み相談は①を、それ以外の相談は②を」とガイダンスが流れるようになった。②を押しした場合、電話は「支援室」に繋がります。全商協の担当者が処理する。RSNの本来の相談業務を円滑にするもので、業界で意義ある活動が始まった。